

- 1 トラック3
- 2 ○社内事務所 夜
- 3 先輩が残業で1人事務所で残つて事務仕事をしている
- 4 部屋には20テーブル程対面で設置されている。
- 5 夜半こつそりが入室する。先輩の机の向きは入口が見えない。
- 6 夜半、先輩の背後から脅かすように
- 7 (中・中)
- 8 夜半「(いたずらっぽく) せんぱい?」
- 9 (うわー・どうした?)
- 10 夜半「(茶化すように) えー…なんですその『言いかた?』」
- 11 (え?)
- 12 夜半「(わざわざしく) え?…じゃないです」
- 13 夜半「(茶化すように) 先輩が一人で残業しているからわざわざ戻つておいたんやけん?」
- 14 (どうして残業してるって知つてんの?)
- 15 夜半「(おどけて) えー・どうして知つてる?…」
- 16 夜半「(いたずらっぽく促す) へやや…わやへ・どうしてや?…」
- 17 (んー…あー…しまつた…あれか)
- 18 夜半「(楽しそうに) そうー・あれですー・へやや…」
- 19 夜半「(楽しそうに) へやや…私、本指名してくれたお客様のアカウントをちゃんとフォロ
- 20 バしてるんだよ?」
- 21 (それはどうも!)「寧にありがたいやうやうや)
- 22 夜半「(ふくられる風に) なんですかの?」
- 23 (ん…こやまあなんでもないよ)
- 24 夜半「なんでもないや…」

- 25 夜半先輩のデスクトップを覗く
- 26 明日提出の資料の直しをしていることに気付く
- 27 夜半 「(恐る恐る) あれ?…先輩…」れつて…明日先方に持つて行く資料…」
- 28 「え?…そうだけど…大したい」と「じゃない」
- 29 夜半 「(心配そうに) 大したことじゃないって…」
- 30 夜半 「おしかしや先輩…」
- 31 夜半 「卓上を見渡し他の案件の修正もしていることに気が付く
- 32 夜半 「(言葉に詰まる) ハハ…」
- 33 「(これは頼まれた分なんだけど…)
- 34 夜半 「(心配そうに) 頼まれたって…」
- 35 夜半、「先輩の疲れたきつた顔を覗きこんで、感情が噴き出す
- 36 夜半 「もう!…先輩は何でもかんでも引き受け過ぎでやー。」
- 37 夜半 「そりやあみんな先輩の」と頼りにしてまわよ?」
- 38 夜半 「だけどそんな精神すり潰しておで生がある意味なんてないー。」
- 39 夜半 「(精神すり潰してなんかないよ。頼りにされる)とは良い事じやないか」
- 40 夜半 「良い事?そんな辛そうな顔してまで頼りにされぬ」とが嬉しいですか?」
- 41 「辛そうな顔つて…」
- 42 夜半 「(自分の辛い気持ちで) だつたら先輩…」
- 43 「いやただ呟いただけだから特に意味はないよ」
- 44 夜半 「(やるせない気持ち) ただ呟いただけって…」
- 45 夜半 「(優しく投げかける) 先輩?…」
- 46 「(ひまわり)
- 47
- 48

- 49 先輩はP.C[画面を眺めて夜半の顔を見ようとしない
- 50 夜半、先輩の顔を両手で自分の方へ向けようとする
- 51 (近・中)
- 52 夜半「(どいいしゃもしない気持ち) めい…いわみわ」
- 53 (いじまじ)
- 54 夜半、先輩にキスをする
- 55 (中・密着)
- 56 夜半「(フレンチキス) へん…んちゅ…わゅ…わゅ…わゅ…わゅう…(吐息) んゅう…んちゅ…あき…あき…」
- 57 (いじまじ)
- 58 (キスいじまじ)
- 59 (いじまじ)
- 60 (右・密着・有声音囁き)
- 61 夜半「先輩…」のち向け…」
- 62 夜半、先輩を抱きしめる
- 63 夜半「(優しく包みこむ風に) ほふ…あゅうう…」
- 64 (いじまじ)
- 65 夜半、抱きしめながら
- 66 (右・密着)
- 67 夜半「先輩? どうして神様が孤独を作つたと聞こがや?」
- 68 (え? どうしてかな?)
- 69 夜半「つふふ…知りません♡」
- 70 (なんだよそれ)
- 71 夜半「やめやいふ、他人を必要としないくらい強ければ…抱きしめる必要がなくなんんじやないかな?」

- 73 夜半 「だから神様はきっと…大きな世界を作つて…人との距離を計れなくして…孤独を作
- 74 つた」
- 75 (そうかもしれない)
- 76 夜半 「そ、うだよ、か、い、ん」
- 77 (い、い、ま、で)
- 78 (うん)
- 79 夜半、先輩にキスをする
- 80 これ以降は先輩に対して「好き」という感情がすべて入ります
- 81 (中・密着)
- 82 夜半 「(フレンチキス) 先輩…んちゅ…ちゅう…ちゅう…ちゅう…ちゅう…」
- 83 (い、い、ま、で)
- 84 (キスい、い、ま、で)
- 85 (中・近)
- 86 夜半 「(語り掛けるように) やや…それに…先輩と私は[歪な色]をして、いるから…」
- 87 夜半 「やめ…先輩となら…」
- 88 夜半 「綺麗に汚れる…」
- 89 (い、い、ま、で)
- 90 (中・密着)
- 91 夜半 「(フレンチキス) ちゅう…」
- 92 夜半 「(語り掛けるように) 私の歪な色でしか先輩の歪な色は補色できないから」
- 93 夜半 「先輩…(フレンチキス) ちゅう…ちゅう…んちゅう…んつ…(口を開ける)はああ…(テ
- 94 イープキス) (鼻息多め) んつ…んつ…んつ…ちゅう…ちゅう…んふう…んつ…んつ
- 95 …はああれろんれろん…ちゅるううう…ちゅるん…」
- 96 夜半 「(口を離す)んつはあ…」

- 97 夜半 「(吐息交じりで甘く命令口調) むへい吐出せ…」
- 98 夜半 「(舌を食む) はああ…む」
- 99 夜半 「(ディープキス) へん…ん…がある…があるううう…あ…あ…れろんれろん…」
- 100 夜半 「れろれろ…わゆるう…わゆつ…わゆつ…わゆつ…れろんれろん…はあむん…わゆる…」
- 101 夜半 「うう…わゆるん…」
- 102 夜半 「(口を離す) んつはあ…」
- 103 夜半 「(感情が高揚してくる) 先輩…めへん潤ぬる…」
- 104 夜半 「(ディープキスをしながらセリフ)
- 105 夜半 「(ディープキス) わゆるう…先輩…れろんれろん…んちゅう…わゆるうう…れろ…」
- 106 夜半 「れろ…ん…わゆう…わゆるぢゅぢゅぢゅぢゅわゆるうう…わゆる…いいやんく…」
- 107 夜半 「大かくなつてる…わゆるうう…バツキバキ…わゆう…はあ…れろんれろん…れろ…」
- 108 夜半 「れれ…わゆるう…わゆつ…ズボン下るそつか…ぢゅつ…ぢゅつ…んつ…れろんれろん…はあむん…わゆるう…わゆるん…」
- 109 夜半 「(ディープキス) わゆる…」
- 110 夜半 「(ディープキス) わゆる…」
- 111 夜半 「(ディープキス) わゆる…」
- 112 夜半 「(中・近)
- 113 夜半 「(艶めかしく悪戯っぽく) はあ…会社でおちんぽ放り出しちゃつた…」
- 114 夜半 「(じりまわる)
- 115 夜半 「(中・中)
- 116 夜半 「んつや…先輩はそのまま座つて下や…私がしゃがんだ…」
- 117 夜半 「夜半、椅子に座つている先輩の股間に前にしゃがむ」
- 118 夜半 「(艶めかしく楽しげに) はや…先輩の洗つてないおちんぽ嗅ぐの初めて…」
- 119 夜半 「(おちんぽの匂を鼻で吸う)
- 120 夜半 「(鼻吸う・オノマトペ・すん)

- 121 夜半 「すん…すん…へやわあ♡…じゅ…やん…やん…やんやん…」
- 122 (臭くな)の?..
- 123 夜半 「ううん…臭いけど…すんすん…すんすん…はあ♡…おちんぽの匂いがする…」
- 124 すんすん…すんすん…すんすん…はあ♡」
- 125 夜半 「先輩も匂い嗅がれておちんぽ…ひくん…ひくんって跳ねて♡…すん…やんやん…はあ…へや…へや…」
- 126 あ…へ…へ…や…へ…や…さあ…へ…や…」
- 127 夜半 「へやや…♡」
- 128 夜半、立ち上がり先輩の顔に近づく
- 129 (鼻で吸う)の
- 130 (いきまじ)
- 131 (右・密着・有声音囁き)
- 132 夜半 「(甘く洗脳するよいに) ねえ先輩…難しこいと考えちゃダメ…先輩は真面目やんただか
- 133 ら…頭のネジ締めすぎなんぢ…だから…頭のネジをゆるゆるにして…脳内麻
- 134 薬いんじんじん温れやせ…なへんわわがんないお馬鹿やんになりましゅうね…」
- 135 (いきまじ)
- 136 (中・密着)
- 137 (ティープキス) (ティープキスしながたセリフ)
- 138 夜半 「(セリフ優しく命令口調) へやや…やゅ…はあ…れらんれらん…ややちゅう…ん…」
- 139 机の後ろに…はあ…れらんれらん…かゅ…かゅ…かゅ…手あわせ…ばむん…れら
- 140 れら…れらんれらん…ややら…」
- 141 (ティープキス) (ティープキス)
- 142 (いきまじ)
- 143
- 144 (中・近)

- 145 夜半 「(艶めかしく) ひらひら…ネクタイで拘束してあげる」
- 146 夜半 「手…椅子の後ろに回せ♡」
- 147 夜半 「ほふ…りへやつて…」
- 148 夜半 「(楽しげに) ぐっしゃだ♡」
- 149 夜半 「(楽しげにいたずらっぽく) ひらひら…手はネクタイで…足は脱ぎかけのズボンで身動
- 150 め取れないね?」
- 151 夜半 「(静かに認知させるように) 先輩の姿…情けなく…かわいく無様…」
- 152 夜半 「(艶めかしく蔑むように) そのくせおちんぽはバッキバキに天井向いてびくくんびつ
- 153 くんして」
- 154 (ひ)まご
- 155 (左・密着・有声音囁き)
- 156 夜半 「(甘く促す) ほふ…おねだりしき…」
- 157 夜半 「(甘く蔑むように) 夜半様僕のおちんぽめちゃくちゃにしてくだらふって」
- 158 夜半 「(艶めかしく) 腰(ひ)ふして…」
- 159 夜半 「(甘く促す) おちんぽめちゃくちゃにしてくだらふって」
- 160 (おちんぽめちゃくちゃにしてくだらふって)
- 161 (ひ)まご
- 162 (中・近)
- 163 夜半 「(わざといらしく楽しげに) もう…仕方ないなあ♡」
- 164 (ひ)まご
- 165 (中・中)
- 166 夜半 「(艶めかしく) じやあまたあ…おちんぽにお顔近づけてえ」
- 167 夜半、椅子に座っている先輩の股間の前にしゃがむ
- 168 (おちんぽの匂を鼻で吸う)

- 169 (鼻吸う：オノマトペ：すん)
- 170 夜半「すん…すんすん…はあ、くへや～…あんすん…すんすん…めへちやへや～」
- 171 夜半「(恍惚したよつや) 先輩のおやんば皮だるんだるんだから…カリの周りに皮被さり
- 172 やねねえいり…あひやへや～」
- 173 夜半「(恍惚したよつや) すん…すんすん…はあ…あんあん…ちんかす溜まりくへや～…
- 174 洗つても取れない感じの匂いしる～…すんすん…はあくへや～…くへや…くへや
- 175 …へや～」
- 176 夜半「(恍惚したよつや) はあ…なんといんなくわらの～すん…すんすん…すんすんす
- 177 ん…あらべなごへら…臭い～」
- 178 夜半「(楽しげに) あつ…すん…」の臭い～…すんすん…しる～びゅるびゅるの匂いだ～」
- 179 夜半「(にやつとしたよつや) 寝る前オナリ～して洗つてないでしょう?」
- 180 (なんでわかったの?)
- 181 夜半「(確認するよな) すん…すん…すんすんすん…え?…あん…だつて…あんあん…」ん
- 182 なえつねご匂いしるがん…すんすん…」
- 183 夜半「んつはあ…」
- 184 夜半「(恍惚したよつや) すん…すん…すんすん…え?…あん…だつて…あんあん…」ん
- 185 夜半「へみみ… (恍惚したよつや) ああ…すんすん…臭すぎ～」
- 186 (鼻で吸ういじり)
- 187 (いへ…いへんなど)
- 188 夜半「(甘く茶化す感じ) つやや…簡単に謝つちやつて可愛いですね先輩は～」
- 189 夜半「(甘く促すように) ほひ…」の1日寝かせたくわらおやんばじうされたらの…」
- 190 夜半「(艶めかしく悪戯つぱく) ～わないと私おちんぽ嗅ぐだけ嗅いだら帰つちやいます
- 191 メ～」
- 192 (そんな意地悪言わないでえ)

- 193 夜半 「(甘く促すよつに) ほふ…むつせれたい?」
- 194 (おちんぽ触つてめちゃくちゃにして欲しご…)
- 195 夜半 「(甘く嘲る) おちんぽ触つてめちゃくちゃにしてほしご?」
- 196 夜半 「(悪戯っぽく) ジヤあはー♡」
- 197 夜半 「(茶化すように) 鼻でおちんぽ触つてあげる♡」
- 198 (おちんぽの匂いを鼻で吸う)
- 199 (鼻吸う：オノマトペ：すん)
- 200 夜半 「(艶めかしく恍惚) すん…すん…ああおちんぽ…すん鼻に擦り付けぬと…すん
- 201 すん…鼻腔にくわいおちんぽ臭…ぬつちより…んのはあ…くわい…いびついて
- 202 くわ…すんすん」
- 203 夜半 「(艶めかしく悪戯っぽく) へや…あんすん…手で扱いておひえぬひ…あん…あん
- 204 すん…思つた?…すんすん…うれしい♪…すん…鼻えつわい♪…すんすん…
- 205 夜半 「(甘く恍惚したよつす) おちんぽ穴お鼻ですりあう♪…ありあり…ありあり…あんや
- 206 わくわく…はあ…すんすん…はあ…臭すが…すんすん…ほんとくわい…すんすん」
- 207 夜半 「(艶めかしく悪戯っぽく) へや…なあにい?腰くいふせてえ…すんすん…おちんぽ
- 208 と鼻と交尾…すんすん…じれつたい?…へや…すんすん…だつて先輩が触つて欲
- 209 しこつて頬んだんだよお?」
- 210 (鼻で吸ういじり)
- 211 夜半 「(甘く悪戯っぽく) あつ…むしかしてこつわだつたかな?」
- 212 夜半 「(艶めかしく促すよつに) 先輩の大好きな乳首…♡」
- 213 夜半 「(艶めかしく) 鼻えつちしながら両乳首かりかりしてあげる」
- 214 (オノマトペ：乳首かりかかり)
- 215 夜半 「かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…」
- 216 夜半 「(甘く命令口調) おらあ…そんな腰急に反らせんな…」

- 217 夜半 「(甘く促すよに) んやや…あう…私は顔動かさないから…乳首かりかりに合わせ腰
くいふせて鼻と交尾しろ♡」
- 218
219 (オノマトペ・乳首かりかかり 腰くい)
- 220 夜半 「ほら…かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…」
- 221 夜半 「くい…くい…くい…くい…くい…くい…くい…くい…」
- 222 夜半 「(甘く嘲るよに) つやや…お鼻とえつち気持わいじですかあ?…くい…くい…くい…」
- 223 つておちんぽが鼻先に伝う度に痺れちゃう…」
- 224
- 225 夜半 「(甘く諭すよに) ゆっくり焦らされておちんぽと乳首ぼわぼわしてわやいますね
- 226 ん」
- 227 夜半 「(甘く艶めかしく) ほふ…きへき…カリから裏筋をつーひて…」
- 228 夜半 「くい…くい…くい…くい…くい…くい…くい…」
- 229 夜半 「かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…」
- 230 (おちんぽの匂いを鼻で吸う)
- 231 (鼻吸う・オノマトペ・すん)
- 232 夜半 「すん…すんすん…はあ…先輩の1日パンツで熟成された白いびゆるびゆる漬けおち
- 233 んぽ…すんすんすん…くわあ…しかも…すんすん…とろ火でマジミルク煮込
- 234 んじ…すんすん…べらへりや…くわ…くわ…くわ…んはあ…」
- 235 夜半 「すんすん…おちんぽ穴…くぱあつて…すんすんすん…えわわ…かんすん…
- 236 あつ…我慢汁出でかたよお?…鼻についたやう…ああつ」
- 237 (鼻で吸う)おじ)
- 238 夜半 「(艶めかしく促すよに) 先輩見て?私の鼻にい…先輩のおちんぽ汁つぶてるの…上
- 239 トすぬたびに鼻にねわよーへ…べわ…のや…」
- 240 夜半 「(甘く意地悪のよに) ああ~意識したらおちんぽとあつあつになつたあ…」

- 265 夜半 「んはあ…れろんれろん…ほら…亀頭の先端も…れろん…指先でカリカリしてあげる…」

266 …れろんれろん…はあむん…カリカリ…れろんれろん…「わゆるう…カリカリカリ…」

267 れろんれろん…はあむん…んややつ…はあむ…めつちや腰くいりだしてる…れろん…

268 れろん…「わゆるう…れろんれろん…わゆるう…わゆる…わゆるう…はあむ…」

269 …んやハ…顔動かすな…」

270 夜半 「わゆるう…んはあ…わゆる…わゆる…わゆるう…わゆるう…わゆるう…わゆるう…」

271 「はあ…ちんカリと…わくカリそれで…れろんれろん…わゆるう…腰くい止まん…」

272 「な…わゆるう…れろんれろん…マーベル…わゆるう…わゆる…わゆる…」

273 夜半 「(舌を吸いながら口を離す) はあ…」

274 (ティーパキス) (おど)

275 (いのまど)

276 (中・近)

277 夜半 「(甘く絆すように) 情けないですね♡」

278 夜半 「(甘く絆すように) いふふ…太腿小刻みに震わせて…あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡で囁かだ…」

279 しゃやつ…ちんカリとわくかりに浸つて…口ばがあつてあけてえ…快感に惚けて…

280 る顔」

281 (いのまど)

282 (右・密着・無聲音囁き)

283 夜半 「(甘く) (恋愛感情を含む) 好きだよ…」

284 (いのまど)

285 (右・密着・有聲音囁き)

286 夜半 「(甘く促すように) もつと快感の波をぶかぶか泳げ」

287 夜半 「(焦らすようにゆっくり) かり…かり…かり…かり…かり…かり…かり…」

288 夜半 「(甘く絆すように) へや…ほら…お顔はおうちに委ねて力抜け…」

- 337 そう…亀頭でむりやり押し広げて…あ♡はあ…♡突き破った♡」
- 338 夜半 「(煽るように) ほふ…引き抜く時もお…カリ首の いつち番氣持ちい所に引っ掛けな
- 339 がふ…あ♡あ♡はあ…♡」
- 340 (めみつわ♡)
- 341 夜半 「(艶めかしく煽るように) つやや…かうと焦らされわんぱだつたから…反則的に気持
- 342 ちふ~」
- 343 (ひ) まほ(ド)
- 344 (右・密着・有声音囁き)
- 345 夜半 「(甘く促すように) つやや…かよお…ほふ…本能の赴くままに動いて…」
- 346 夜半 「(甘く煽るように) 指輪つかまんにい…先輩の生殖本能見せつけてやつてください
- 347 メヌ…」
- 348 夜半 「(甘く悪戯に) つやや…わからん♡先輩の大好きな乳首もかりからしてあげる♡」
- 349 オノマトペ日安 : B P M 6 0 = → → = < →
- 350 夜半 「ほふあ…くくくくくく…くくくくくく…くくくくくく…くくくくくく
- 351 < →」
- 352 夜半 「(甘く煽る) つやや…先輩? そんなん雑魚腰振りじやあ…私のおまんこ満足できない
- 353 ジョヌヨヌ…」
- 354 夜半 「(甘く命令口調) ほふ…私のおちちに顔固定して…椅子が壊れるくらい激しく動か
- 355 セ…」
- 356 オノマトペ日安 : B P M 1 6 0 = → → = < →
- 357 夜半 「ほふあ…くくくくく…くくくくく…くくくくく…くくくくく
- 358 < →」
- 359 夜半 「(少し馬鹿にして煽るように) つやや…先輩わいふ♡…ほふとに椅子壊れそう…」
- 360 わふふ…わふふ…あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡」

- 433 (うん)
- 434 夜半 「(楽しげに) へややや…そつか」
- 435 (楽しげに好きな気持ちが前面に出でいる)
- 436 夜半 「でもお先輩の…惚けた顔…ムカつくんで…お仕置めしやいや♡」
- 437 (え? なんだ?)
- 438 夜半 「(楽しげに) なんだつや…」
- 439 (いじまぢ)
- 440 (右・密着・有声音囁き)
- 441 (愛の告白にと同じ気持ちで)
- 442 夜半 「そんな蕩けきつた顔…私にしか見せないんだつて思つたる…ボロボロにしたくなる」
- 443 (いじまぢ)
- 444 (中・密着)
- 445 夜半 「先輩… (口にフレンチキス) わゅ~」
- 446 (ディープキスをしながらセリフ)
- 447 夜半 「(フレンチキス) わゅ~…わゅ~… (ディープキス) れろんれろん…ん~…れろんれ
- 448 ろん…わゅ~…下脱ぐね…ちゅつ…はむん…れろんれろん…わゅるううう…は
- 449 むん…んぱあ」
- 450 夜半 「わゅ~…わゅ~…パンツも…れろんれろん…れろれろ…わゅるうう…んは
- 451 あ」
- 452 (ディープキスいじまぢ)
- 453 (いじまぢ)
- 454 (中・近)
- 455 夜半 「(自分が脱いだやみに勃起してうれしい) へやや…先輩…おちんぽ起ちすぎ♡」
- 456 夜半 「(艶めかしく) ねえ先輩…いのまま椅子に縛られたまま…」

- 457 夜半、先輩の上にまたがる。（ここからは椅子で座位をする）（足は地面につきます）

458 夜半「（艶めかしく）んしょっ…先輩の首に手を回して…足をまたいで…う…もう片足も

459 …んしょっ…」

460 夜半「（茶化すように） うふふ…先輩完全ホールドされちゃいましたね♡」

461 夜半「つふふ…（フレンチキス）んちゅっ…（恍惚として） ねえ…おまんこがあつあつの湿気が…おちんぽの先っぽに伝わってるのわかります？」

462 「あ…おちんぽの先っぽに伝わってるのわかります？」

463 夜半「（恍惚として） あと3ミリ私が腰落としたら…生ハメ交尾♡…」んな無様な姿でする

464 「…んです…」

465 夜半「（恍惚として） 先輩は椅子に座って縛られながら…上にまたがられて…逆レイプみた

466 いに犯されるんです」

467 （本当に告白的な意味合いで）

468 夜半「好き…」

469 （好きです）

470 夜半「（はぐらかすように） うふふ…ばーか」

471 夜半、腰を落としおちんぽを挿入しようと/or/する

472 夜半「（恍惚して）ん…ん…はあ…あ…あ…あ…あ…あ…先輩…おまんこぐちよぐちよなのわからります？」

473 「…ります？」

474 夜半「（ゆっくり探るように） いのまますんなり入りそ…」

475 夜半「（感じながら少し探るような感じで） ん…ん…亀頭の先端にゅちょっと…ん…あ…

476 先輩のおちんぽほんとやべいくらいぱんつぱんだから…ほぐした方が良さそ…」

477 夜半「（艶めかしく） ん…先輩の亀頭で…おまんこほぐしますね…」

478 夜半「（探るように） あ…ん…ほら…亀頭の先端から半分くらいまで…ゆっくり…」

479 夜半、亀頭の半分まで上下に腰を振る

480 夜半「（静かに感じる） あ…あ…あ…あ…あ…ん…」

- 481 夜半 「(艶めかしく) ふつも先輩…雑魚ちゃんぼのくせに…こやり起ひて…気持ち…」
- 482 夜半 「(茶化すよに) ひやや…そんに…私と…ん…おまんこしたかつたんだ♡」
- 483 夜半 「(楽しげに) でもまだ亀頭の半分だけだね」
- 484 夜半 「(静かに感じる) …ん…あ…あ…あ…あ…ん…」
- 485 夜半 「(甘く嘲る) じれつたい?…つら…だつてずっと亀頭いじめられてたもんねえ…」
- 486 夜半 「(からかうよに) でも…先輩が本気勃起させるからわるふんぢすよ?」
- 487 夜半 「(子どもの甘く囁くよに) じめんなかこば~」
- 488 (じめんなかこ)
- 489 夜半 「(甘く嘲る) んやや…すぐに謝つちやつて♡可愛い♡」
- 490 夜半 「(からかうよに) ジやあ素直な子には…」褒美♡…あげちゃつおつかなあ…♡」
- 491 夜半 「(艶めかしく) ほふ…顔上向けて…そつ…」
- 492 夜半 「(艶めかしく) ひやや…」ほすなよ?」
- 493 夜半、先輩の顔に睡を垂らす
- 494 夜半 「(垂らす) んあ~つ…(口に残ってる睡を吸い上げる) じゅるうう」
- 495 夜半 「(甘い感じで) んやや…良く受け止めました♡」
- 496 夜半 「(甘い感じで) ほふ…」わ向ける」
- 497 夜半、先輩の顔に睡を吐き出す
- 498 夜半 「(睡を口の中に溜める) ん~…ぐわやぐわやぐわや…(顔に吐きかける) ベ~」
- 499 (じこまで)
- 500 (中・密着)
- 501 (顔舐め/吐息多め)
- 502 夜半 「ひやや…あー…れろんれろんれろん…はむん…はむはむ…れろんれろん…じゅるうう…」
- 503 夜半 「じゅるう…え…れろんれろん…じゅるうう…」
- 504 夜半 「鼻の穴も舐めてあげる…えー…れろんれろん…れろんれろん…れろんれろん…じゅ

- 505 るうう…はむん…れろんれろん…れろんれろん…れろれろれろ…ん…れろれ
506 ろれろれろ…じきるははは
- 507 夜半 「んはあ♡」
- 508 (顔舐めいじまじ)
- 509 (いじまじ)
- 510 (中・近)
- 511 夜半 「(楽しげに茶化す) ほんと先輩って唾液が良く似合う顔してますね」
- 512 (褒めてんの~)
- 513 夜半 「(楽しげに茶化す) 何言ひてるんですか最高の褒め言葉じゃないですか」
- 514 夜半 「(甘く嘲る) へへへ…ほら…そんなこと言ひながら…私の餓えた瞳の口くちゅくちゅく
- 515 ふ大好きなくせに♡」
- 516 (いじまじ)
- 517 (左・密着・有声音囁き)
- 518 夜半 「(甘く命令口調) へへへ…ほら…亀頭おまんこ…犯されながら…唾の匂い嗅げ♡」
- 519 夜半 「(甘く) ほら…乳首…指先でえ…かりかりしてあげる…」
- 520 夜半 「(甘く嘲る) へへへ…先輩…今すいへえへや…」
- 521 夜半 「亀頭…ちゅい…乳首…かりかり…唾の匂い…」
- 522 オノマトペ目安：BPM130=→ →=ちゅい/かり/すい
- 523 夜半 「ちゅい…ちゅい…ちゅい…かりかりかりかり…やへんやへん…」
- 524 (いじまじ)
- 525 (中・近)
- 526 夜半 「へへへ…かへる」ご情けない姿♡」
- 527 夜半 「(甘く促すように) ほら…先輩…私の目みて…」
- 528 夜半 「わきわき…わきわき…わきわき…わきわき…わきわき…わきわき…わきわき…わきわき…わきわき…わきわき…わきわき…」

- 529 「…やや左・密着・有声音囁き」

530 夜半「(甘く茶化すように) ひふふ…見つめ合ひですると感度上がっちゃいますよね」

531 先輩目を逸らそうとする

532 夜半「(甘く) ひふふ…目逸らすな…逸らしたら止めるや?」

533 夜半「(甘く) ひふふ…ここ十」

534 夜半「かりかりかりかり…かりかりかり…」

535 夜半「(艶めかしく) ひふふ…田んぼへんてして…わいわからおちんぽひくんひくんひて」

536 …」

537 夜半「(艶めかしく) ねえ先輩?…先輩がずっと本気勃起だからおまんこパンパンできませいよ~」

538 夜半「(甘く促すように) なので…ネクタイ緩めてあげるから…自分で竿コキしていくださ

539 夜半「(甘く) おまんこで亀頭ちゅうられて…乳首捏ねくり回されて…睡の匂い嗅ぎながら…」

540 夜半「(甘く嘲ながら) 自分の手で竿コキしていくださ

541 夜半「(甘く) おまんこで亀頭ちゅうられて…乳首捏ねくり回されて…睡の匂い嗅ぎながら…」

542 夜半「(甘く嘲ながら) 自分の手で竿コキしていくださ

543 (ひままで)

544 (中・密着・有声音囁き)

545 夜半「(甘く蔑む) ひふふ…想像しただけでまたちんこペキらせんna♡」

546 (中・近)

547 夜半「(甘く煽るように) ひふふ…好きに扱いて良いですけど…」

548 夜半「(甘く命令) 前立腺意識して…常にピクつかせろ♡」

549 夜半「(甘く嘲るように) それから…私がイケって許可するまで射精しないでくださいね?」

550 (ひままで)

551

552 (やや左・密着・有声音囁き)

577 (やや右・近)

578 夜半 「(甘く嘲る) ひやひ…おまんこひ…とひであつあつのか…おちんぽに垂れて…天然
579 の潤滑油になつてあんソロ拂つわやこまやね」

580 夜半 「(艶めかしく) ほん…といのまん汁を…乳首にもぬりぬり…ひやひ…感度上がりました
581 ね」

582 (いのまじ)

583 (中・近)

584 夜半 「(甘く促すように) ほら…乳首かりかり意識してえ…私の田みでえ?」

585 夜半 「(甘く煽るように) んあーって舌出せ…」

586 (いのまじ)

587 (中・密着)

588 (ディープキス/吐息多め/キスをしながらセリフ)

589 夜半 「んぢゅるるねね…ひ…ひ…ぢゅるうん…ぢゅるるるる…じゅるん…んぢゅ…ぢゅるん…

590 うう…ぢゅるん…えー…前立腺意識しろ…んはあ…ぢゅるるるうう…ぢゅるん…

591 …ぢゅるん…ぢゅちゅん…ぢゅるん…ぢゅるぞぞぞ…しぢゅるるん…んはあ…乳

592 首がぱくうつて膨らんで…ぢゅう…ぢゅるるるね…うう…ぢゅぢゅ…ぢゅぞぞぞ…

593 ぞぞ…脳みそぢゅわきせて…ぢゅるん…れろれろれ…ぢゅるうう…空イキし

594 ろ…ぢゅるうう…んぢゅ…ぢゅるんぢゅるん…ぢゅぞぞぞ…ぢゅるうう…れろん

595 れろん…ぢゅるうう…んはあ…ぢゅるう…ぢゅるね…ぢゅるん…んはあ」

596 (ディープキスいのまじ)

597 (いのまじ)

598 (中・近)

599 夜半 「(甘く尋ねる) ひやひ…犯されながらぐわわよー一氣持ち…」

600 (あー 1回しゃ…)

- 601 夜半 「(可愛い)と思ひながら) へやや…めへ 1回?」
- 602 夜半 「(めつた)ばかりながら) へやや…仕方ないなあ…」
- 603 夜半 「(甘べたしなめる) そのかわり…射精イキはダメだからね?」
- 604 (いにやがじ)
- 605 (中・密着)
- 606 夜半 「(甘く) ぬめりくべーっと出や」
- 607 (ディープキス/吐息多め/キスをしながらセリフ)
- 608 夜半 「んわ もぬぬぬぬううう…かゅるうん…ちゅぬぬぬ…じゅるん…んやう…かゅぬうう…かゅるん…
- 609 うう…かゅるん…えー…乳首気持ちい…んはあ…ちゅるぬぬぬううう…かゅるん…
- 610 ちゅるん…かゅるん…かゅるん…ちゅるん…ちゅるぞぞぞ…しゃきるん…んはあ…乳首
- 611 イキ…かゅう…くちゅるるぬうう…かゅぢゅ…かゅぞぞぞ…脳みそがわが
- 612 わかわ…かゅるん…れられられ…かゅるううう…空イキしろ…かゅるうう…ん
- 613 うう…かゅるん…かゅるん…かゅぢゅぞ…ちゅるうう…れろんれろん…かゅるうう…
- 614 …んはあ…かゅるう…かゅるぬぬう…かゅるん…かゅるん…かゅぢゅぞ…んはあ
- 615 …れろんれろん…れろれろれろれ…えー…かゅるん…かゅるぬ…かゅるん…じ
- 616 タルん…かゅせん…ん…じきぬ…かゅつ…かゅつううう」
- 617 夜半 「へはあ…」
- 618 (ディープキスいにやがじ)
- 619 (いにやがじ)
- 620 (中・近)
- 621 夜半 「(甘く嘲る) へやや…めつ涎くへやくめ心」
- 622 夜半 「(甘く命令口調) ほらやんシロ止めんな心」
- 623 夜半 「(甘く楽しげに) んやや…軽く空イキしたのにやんシロ止めやめられないのヤバいで
- 624 すね心」

- 625 夜半 「(可愛いと思ひながら) ん?・頭変になる?」
(頭変になる)

626 夜半 「(可愛い好きと思ひながら) 良いんですよ?・頭おかしくない?」

627 夜半 「(可愛い好きと思ひながら) ん?・頭変になる?」
(いじまぢ)

628 夜半 「(可愛い好きと思ひながら) 良いんですよ?・頭おかしくない?」
(やや右・近)

629 夜半 「(可愛い好きと思ひながら) 良いんですよ?・頭おかしくない?」
(やや右・近)

630 夜半 「(甘く洗脳するように) おかしくなりませう?」
(いじまぢ)

631 夜半 「(甘く洗脳するように) おかしくなりませう?」
(やや右・密着)

632 夜半 「(甘く洗脳するように) おかしくなりませう?」
(やや右・密着有声音囁き)

633 夜半 「ほふ…あひと扱いてる手おまんこにペンペンレレ」

634 夜半 「(甘く洗脳するように) おかしくなりませう?」
オノマトペ田安・BPM 180 = → → = レ

635 夜半 「(甘く洗脳するように) おかしくなりませう?」
レレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレ

636 夜半 「(甘く洗脳するように) おかしくなりませう?」
レレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレ

637 夜半 「かりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかり…」

638 夜半 「(甘く洗脳するように) おかしくなりませう?」
レレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレレ

639 夜半 「(可愛いと思ひながら) へふふ…あひふ口ぱくぱくしゃせり…あひあひあひて喘いで可
愛い」

640 夜半 「(甘く促す) ほふ…あひふ」品に臨ひや…」

641 夜半 「(甘く促す) おひ おひ おおおんひ」

642 夜半 「(甘く促す) おひ おひ おおおんひ」

643 夜半 「(甘く促す) おひ おひ おおおんひ」

644 夜半 「(やや右・近) おひ おひ おおおんひ」

645 夜半 「(やや右・近) おひ おひ おおおんひ」

646 夜半 「(やや右・近) おひ おひ おおおんひ」

647 夜半 「(やや右・近) おひ おひ おおおんひ」

- 649
- 650 (おちんぽ気持ちい。ちん先おまんこに犯されておちシロさせられるの、やつべ。乳首
651 もかりかり凄いのずつと甘いのちんぽ、甘トロにせせられて頭おかしく、やつべ、ダ
652 メ鼻の穴もすんすんする度、睡くつた、脳みそ蕩ける)
- 653 夜半 「 “おひ♡” “おひ♡” “おひ♡” “おひ♡” おひんぽおはちこ♡ “おひ” “おおおオオんつ♡
654 ぢ “えわわわ” “おひ…んほお♡…」 おかしゃれでえ… “おひ♡” “おひ♡” お
655 ほお♡ぢ “えじゅ” ジヤジエ “られるの…んつ…” “おおおオオオオん♡やつべ♡かぐ
656 びあお…かりかり…しゅんこのお…じゅうとあまいのお…わひわんぽお♡
- 657 あがくしにしゃせられえてえ…んもう…あたみや…おかじぐ…んほおおひお♡
やつべ♡ “おひ” “おひ♡” らめ…はにやのあにやめ…すんすんしゅるたびい…つば…
658 くつや♡ “おひ” “おひ” “おひ” “おひ” “おおおん♡” のうみしょとろけりゅう♡ “お
659 つ “おほお♡” “おひ” “おひ” “おひ” “おひ” “おおおおん…” イグ… イグ “イグ…” や
660 つ “イグ♡” “イグ♡”
- 661
- 662 夜半 「(甘く煽る) つやや…亀頭が射精寸前つて感じなんですか…」
- 663 夜半 「(甘く煽る) イクイクする? イグ イグ イグ イグ イグう♡」
- 664 夜半 「(少し馬鹿にする感じで) つやや…ト品におねだりできたらイケるかもしれないよ?」
- 665 (ひまじ)
- 666 (やや右・密着)
- 667 夜半 「(甘く) ほら… イグ イグ イグ イグ イグ イグ イグ イグ イ
668 グう♡」
- 669 夜半 「(艶めかしく) えーつて舌だして…」
- 670 夜半 「(甘く煽る) イグ イ
671 グう♡」
- 672 夜半 「(甘く煽る) イクイクしたい? そんな無様な姿で犯されながらイキたい?」

- 673 夜半 「(甘く煽る) 半分オナニーみたいなやつこマゾセックスでイク?」
- 674 夜半 「(甘く蔑むように) つぶや…ほら…おちんぽ気持ちい…情けないセックス気持ちい…
- 675 オスとしての自尊心崩れる…」んな恥ずかしいセックスオスとしてありえない」
- 676 夜半 「(好きといながら) でも…」ういう方が先輩は好きですもんね」
- 677 夜半 「(恍惚として) つぶや…私も好き…だからもつと情けないといふ見せろよ」
- 678 夜半 「(甘く煽る) ほら…イクイクイクイク…イクイクイクイク…ぐる…ぐるぐるぐるぐる
- 679 …びゅるびゅるしゅる…びゅるびゅるイクイクイクイクイクイクイクう○」
- 680 夜半 「…はーいストップ○」
- 681 (いこまど)
- 682 (中・近)
- 683 夜半 「(可愛いと思い楽しげに) つぶや…そんな悲しい顔しないでください」
- 684 夜半 「(少し馬鹿にして) でもイキたいよね?○」
- 685 夜半 「(甘く命令的に) だつたら…めっと懇願しながら抜け」
- 686 夜半 「(甘く支配的に) つぶや…ほら…私の目見ながら…」
- 687 夜半 「(甘く支配的に) イキたいです…イカせてくださいって懇願しろ」
- 688 (イキたいです)
- 689 夜半 「(甘く意地悪く) つぶや…従順ですねえ…」
- 690 夜半 「(甘く煽るよう) もう…おまんこやわこくなつて…少しおちんぽ突きあげたらにゅ
- 691 ちゅうつて奥まではいるのわかつてるくせに○」
- 692 夜半 「(甘く煽るよう) 変態行為好きすぎで止まんないだよね?こんなのにえつち過ぎて止
- 693 められないんだよね? つぶやく○」
- 694 (いこまど)
- 695
- 696 (やや左・密着・有聲音囁き)

- 697 夜半 「ほんと変態過か♡」

698 夜半 「ほら扱け…♡」

699 オノマトペ目安：BPM180=— → =—

700 夜半 「しゃしゃり…しゃしゃり…しゃしゃり…しゃしゃり…しゃしゃり…」

701 夜半 「（恍惚として） あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ…めうおまんこぬちゅぬちゅんなつち ゃつて…カリ簡単に包みいんじゃ…あ♡あん♡…」

702 夜半 「（恍惚として） あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ…めうおまんこぬちゅぬちゅんなつち ゃつて…カリ簡単に包みいんじゃ…あ♡あん♡…」

703 夜半 「（恍惚として） やわやわ…おまんこがじゅぱじゅぱつて…あん♡…ひよひ…かり首にめっちゃひつかかる…」

704 夜半 「（恍惚として） やわやわ…おまんこがじゅぱじゅぱつて…あん♡…ひよひ…かり首にめっちゃひつかかる…」

705 夜半 「（恍惚として） やわやわ…おまんこがじゅぱじゅぱつて…あん♡…ひよひ…かり首にめっちゃひつかかる…」

706 (いゝまぢ)

707 (やや左・密着)

708 夜半 「（不意に言葉にした感じで） やっぱ…めっちゃ興奮する」

709 夜半 「（感じんながら求めるように） ああ…もつと耳く…ぱちゅんぱちゅん…手え…動かせ

710 夜半 「…」

711 夜半 「（静かに感情が上がつてくる様子） あ…はあ…あ…あ…あ…あ…」

712 夜半 「（恍惚として） ベルすか♡」

713 夜半 「（甘く脳内に刷り込むように） 先輩も…そう思いません？こんなはしたないセックス

714 …先輩どだけです…」

715 (いゝまぢ)

716 (中・近)

717 夜半 「（感情が抑えられない感じで） はあ…顔舐めたら…」

718 (いゝまぢ)

719

720 (中・密着)

721

(顔舐め/吐息多め)

722

(もつ…し)手緩めるな・鼻の穴…)

723

夜半 「はあむ…れろれろれろれ…れろんれろんれろん…んやう…もつ…し)手

724

手え緩めんな…れろれろれ…はあむ…れろんれろんれろん…はにやのあに

725

や…れろれろれろれろれ…れろれ…わゆねハハハ…はあむん」

726

夜半 「へんはあ…」

727

(耳舐め) (まで)

728

(い) (まで)

729

(中・近)

730

夜半 「(甘く嘲る) へやや…ほの…すんすん…へやこ睡嗅いで…」

731

夜半 「(甘く楽しげに) んやや…くへて何喰つてゆんや?」

732

夜半 「(甘く楽しげに) 噛んだらイクの早くなる?」

733

夜半 「(可愛い)と思ひながら) へやや…マーブル♡」

734

夜半 「(甘く煽る) ほふ…イクイクしたいなふお願いしゃみたふふう♪」

735

夜半 「(甘く煽る) イクイクさせやくだやこ」

736

(イクイクさせてや)

737

夜半 「(可愛い)と思ひながら) へやや…良く聞えました♡」

738

(い) (まで)

739

(やや左・密着)

740

夜半 「はーこじやあ…イクイクイクイクイクイクイクう~♡」

741

夜半 「(甘く煽る) ほら…わやんわなきやダメですよ?」

742

夜半 「イクイクイクイクイクイクイクイクう~♡」

743

夜半 「(甘く馬鹿にする) 逆レイプセックスキシチャヤイモヤう~」

744

夜半 「(甘く馬鹿にする) オスの尊厳…精子と一緒に廃棄します~」

- 793 夜半 「(甘く煽る) 金玉でグツグツ煮たぎゅんせた"ロ"濃厚マゾザーメンおまんこの中に
- 794 全部ひり出せ」
- 795 夜半 「(甘く煽る) 私のおまんこに中出し」
- 796 夜半 「(甘く煽る) ひゅる…えら…えら…ひよ子姫淫れやせりよ」
- 797 夜半 「(不意に腰が動いて感じる様子で) へん…あひ▽あひ▽あひ▽あひ▽あひ▽あひ▽」
- 798 (いゝまぢ)
- 799 (中・近)
- 800 夜半 「(甘く嘲る) 急に腰さりだして…オスの本能呼び起ししゃやつたかな?」
- 801 夜半 「(甘く優しく) へやや…そんな先輩も好き」
- 802 夜半 「(甘く優しく) 私と赤ちゃん作りたくなつた?」
- 803 夜半 「(甘く優しく) 孕ませたい?」
- 804 夜半 「(甘く優しく) おまんこにザーチャらまけたい?」
- 805 夜半 「(恍惚として) へやや…こんな濃厚なセックス…一発で赤ちゃんやめやう▽」
- 806 夜半 「(甘く優しく) でも…先輩となら良いですよ?」
- 807 夜半 「(甘く優しく) 私は先輩の弱い部分も変態でマゾな所も全部好きですよ?」
- 808 夜半 「(甘く優しく) へやや…」
- 809 (いゝまぢ)
- 810 (やや右・密着・有聲音囁き)
- 811 夜半 「(恍惚として切ないよつす) あつ▽…あん▽先輩好き…好き好き…」
- 812 夜半 「(恍惚として) もつと…もつと…ほら…扱いて」
- 813 夜半 「イクイクイクイクイクイクイクイクイクうつて」
- 814 夜半 「(甘く優しく) 夜半のまんこにマゾザーメンたぶたぶにしてやるうつて」
- 815 夜半 「(甘く優しく) へやや…ああ…ほんとに亀頭くばあつて限界そつ」
- 816 夜半 「ほら…イクイクイクイクイクイクイクイクイク」

865 (こゝまど)

866 (中・近)

867 夜半、先輩ともにオーガズムに達し少し落ち着く

868 夜半「(息を整える様子で) つん…はあ…はあ…はあ…ん…はああ」

869 夜半「(甘く優しく) 先輩…先輩…先輩…ああ…精子…おまんこの中でどろついてる…」

870 (事后で少し脱力気味に)

871 夜半「んはあ♡おまんこおちんぽの根本まで…はあん…入っちゃいましたね…あつあん

872 …んぐう…ぐう…んはあ…はあ…ああ…あつあつあつ…んつ…はあああ…あつ

873 …」

874 夜半「んつはあああ…あああ…あつあつ…んつ…んう」

875 夜半「んつ…はあ…」

876 夜半「つふふ…はあ…」

877 夜半「ほら…根本から残り汁…」うやつ…」

878 夜半「つん…はあ…」

879 (完全にヒロインを好きにさせいやるという意識でお願いします)

880 夜半「つふふ…せんぱい?」

881 (どうしたの?)

882 夜半「なんでもないでーす」

883 夜半「つふふ…ただ…もう少しのままでこましょくみ」

884 夜半「今…これ以上ない距離にいるんですから」

885